

問1 十勝平野で行われている、同じ土地に異なる種類の作物を数年周期で順番に栽培する「輪作」の目的として、最も適切な説明を選びなさい。

(2024年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 特定の病害虫の発生や土壌の栄養偏りによる連作障害を防ぐため | 2. 冷害による被害を最小限に抑えるため、収穫時期を極端に分散させるため | 3. 急傾斜地において土砂崩れを防ぎながら、効率よく肥料を吸収させるため | 4. 米の生産調整（減反政策）に伴い、水田を畑地に転換して活用するため |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|

問2 ある都道府県の統計データにおいて、小麦の収穫量が約71万7千トンと全国で突出して多く、豚の飼育数も約76万頭と多くを占める都道府県として適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。

(2026年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 北海道 | 2. 東京都 | 3. 鹿児島県 | 4. 愛知県 |
|--------|--------|---------|--------|

問3 北海道のニセコ町における産業と観光の特徴に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

(2026年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 冬場にスキー客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では農業が最も高い割合を占めている。 | 2. 冬場にスキー客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では飲食業や宿泊業が最も高い割合を占めている。 | 3. 夏場に避暑客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では農業が最も高い割合を占めている。 | 4. 夏場に避暑客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では飲食業や宿泊業が最も高い割合を占めている。 |
|---|--|--|---|

問4 北海道の旭川市など、内陸部の都市の開発に関連した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|------------------------------------|---|
| 1. 江戸時代に松前藩が交易の拠点として整備し、本州からの商人が集まって形成された | 2. 明治時代以降、屯田兵が配置され、北方警備と並行して農地の開拓が行われた | 3. 戦後の高度経済成長期に、石炭採掘の拠点としてゼロから建設された | 4. アイヌの人々が古くから築いていた大規模な城郭都市を、明治政府が接収して発展させた |
|---|--|------------------------------------|---|

問5 北海道の知床や鹿児島県の屋久島など、貴重な自然環境が残る地域では、観察用のデッキや木道を設置する取り組みが行われています。観光客に地域の自然を体験してもらう一方で、踏みつけなどによって自然が破壊されることを防ぎ、環境の保全と観光を両立させるこのような仕組みを何と呼びますか。

(2022年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|----------------|------------|--------------|
| 1. マスツーリズム | 2. バリアフリーツーリズム | 3. エコツーリズム | 4. グリーンツーリズム |
|------------|----------------|------------|--------------|

問6 北海道の倶知安町やニセコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 1. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため | 2. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため | 3. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため | 4. 流氷を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため |
|--------------------------------------|---|--|--|

問7 北海道には、その土地の先住民族の伝統的な暮らし方や文化を学ぶための国立施設が整備されています。この民族の歴史や現状に関する説明として、最も適切なものはどれですか。

(2026年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. かつて南西諸島を中心に独自の王国を築き、東南アジアとの中継貿易で栄えた人々である。 | 2. 明治時代に本州から組織的に移住し、屯田兵として土地の開墾に従事した人々の総称である。 | 3. 江戸時代にユーラシア大陸から移住し、大規模な農地開発を主導した人々の集団である。 | 4. 独自の言語や自然を敬う文化を持つ先住民族であり、現代においてもその伝統の継承が図られている。 |
|--|---|---|---|

問8 日本の積雪寒冷地では、道路の上方向きの矢印が描かれた標識が設置されていることがあります。この標識を設置する主な目的として、最も適切なものはどれですか。

(2021年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|--|
| 1. 急な上り坂が続くことを運転者に知らせ、低速走行を促すため | 2. 野生動物が道路を横断する可能性が高い地点であることを警告するため | 3. 除雪車が雪を捨て場所を指定し、作業の効率化を図るため | 4. 吹雪や積雪によって路肩の境界が見えなくなるのを防ぎ、道路の端を示すため |
|---------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|--|

問9 北海道の東部に位置し、その東側に国後島を望むことができる半島は、独自の生態系が維持されていることからユネスコの世界自然遺産に登録されています。この地域の説明として正しいものはどれですか。

(2025年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 根室半島では、広大な釧路湿原とつながるラムサール条約登録地として、タンチョウの繁殖地を保護する取り組みが行われている。 | 2. 知床半島では、流氷がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。 | 3. 下北半島では、日本最北端の地として知られる岬があり、野生のニホンザルの生息地として世界自然遺産に登録されている。 | 4. 能登半島では、複雑な海岸線を利用した漁業と、伝統的な農法が一体となった世界自然遺産としての景観が維持されている。 |
|--|---|---|---|

問10 北海道東部に位置する根釧台地では、広大な土地を利用した大規模な酪農が盛んに行われています。この地域で畑作よりも酪農が適している理由として、気候や土地の条件を説明した文として最も適切なものはどれですか。

(2016年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 冬の積雪量が非常に多く、春になっても雪が解けないため、耕作期間が極端に短いから。 | 2. 一年を通じて降水量が非常に少なく乾燥した気候であり、水不足に強い牛の飼育が適しているから。 | 3. 土地が火山灰で覆われており非常に肥沃であるため、肥料を使わずに効率よく飼料を生産できるから。 | 4. 夏は湿った風の影響で濃霧が発生しやすく、低温であるため、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているから。 |
|---|--|---|---|

問11 日本最大の面積を持つ地域における産業構造の特徴について、統計資料から読み取れる傾向として適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。

(2022年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 製造品出荷額等が約25兆円と極めて高く、第2次産業の就業者割合が第3次産業を大きく上回っている。 | 2. 広大な土地を利用した大規模な水稲栽培などの農業が盛んである一方、第3次産業の就業者割合は約6割強にとどまっている。 | 3. 日本最大の面積を持つが、寒冷な気候のため水稲栽培は行われず、サービス業などの第3次産業が就業者の大半を占める。 | 4. 大規模な土地利用による農業は衰退しており、現在は製造業と観光業のみが地域の主要な産業となっている。 |
|---|--|--|--|

問12 1960年から2010年までの50年間で、札幌市の人口は約62万人から約191万人へと3倍以上に急増しました。北海道全体の人口が1950年の約430万人から2010年の約551万人へと緩やかな推移を見せる中で、このような札幌市の人口動態が北海道全体に与えている状況として最も適切なものはどれですか。

(2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 北海道全体の人口が減少局面に入ったことで、札幌市の人口も2010年に向けて激減した。 | 2. 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。 | 3. 道内の各都市が札幌市と同様のペースで成長したため、札幌市の人口占有率は低下している。 | 4. 札幌市の人口増加率よりも北海道全体の人口増加率の方が高く、人口の分散が起きている。 |
|---|--|---|--|